

## &lt;研究ノート&gt;

教師が生徒に与える影響と教師の資質の考察  
 - 教師への夢と力を育てる授業の工夫 -

常磐大学人間科学部  
 森 猛

常磐大学人間科学部  
 瀬尾京子

玉川大学教育学部  
 森山賢一

## 概要

教師を目指そうとする学生は、自分が学び育ってきた過程で、心に残る教師との出会いがあり、その教師から大きな影響を受けて教師になってみたいという想いを抱いているのではないかという仮説のもと指導に当たってきた。

学生の心をとらえた教師の資質を分析し、その影響を将来の教師像に生かそうとする学生の力を高めることに生かすことは、教師の想いをつなぐ意味で重要な課題である。

学生が思い描く教師像に迫るために、授業のどこを工夫したら具体的・実践的に迫れるのかとらえ直してみることは、教職課程の授業実践を進める上で有効なことと考えられる。

また、その考察を通して、教育を成功させる最大のポイントである「教師の資質とは何か」という大きな課題に迫ってみたい。

## 1. はじめに

専攻する学部の授業の他に「教職課程」の授業を受けてみようと思う者は、他の学生よりも大きな決意を持っていることは確かである。ただそれが100%そのまま教師になりたいという希望に結びついているというわけでもない。近年の就職状況の悪化、大都市圏での教員の大量採用の就職状況などの要因も大きな影響を与えているであろう。

そのような影響もあってか、「教職入門」の受講生は2009春semesterでは80名と大幅増員となった。教室にあふれんばかりの学生を見て、不景気と公務員人気、単なる資格を取るだけの「とりあえず資格」の雰囲気流されるような授業になってはならない、「教師になるということは人を育てる教育に携わるという崇高な理想に基づく心構えが必要である」と言えるような授業にしなければならないと、責任の重さに見舞われた。

授業の実践に当たっては講義形式の授業形態をなるべく少なくし、学生が自ら問題を解いていく方法、できるだけグループで活動する機会を増やす、学校で実際に授業を進める場合という想定になるべく近づけ模擬体験を進めていくことにした。

内容の構成は次の（知る・行う・深める）3つの柱で徐々に内容を深めていくことを想定した。

## 教師の仕事について

- ①知る 5時間 <先生の1日、服務と管理、相談事例、教育基本法等>
- ②行う 5時間 <学級経営、好きな言葉・信条、コミュニケーション、学級通信を作る等>
- ③深める 4時間 <道徳の授業とねらい、道徳の授業を創る、スピーチをする等>

## 授業の場面では

- ・講義形式を少なく、学生が自分で問題を解いていく授業へ
- ・実際の学級を想定し、学生が相互に協力・コミュニケーションし仲良くなれる授業
- ・できるだけグループ活動を取り入れ、他の人の多様な考えを開ける授業



② 親 身 で 相 談 が で き る	<p>悩みを真剣に聞いてくれる</p> <p>進路を本気で応援してくれた、生徒と一緒に真剣に悩んでくれた</p> <p>何でも相談に乗ってくれる、親身になってアドバイスしてくれる</p> <p>生徒を信じていてくれた</p> <p>生徒を第一に考えてくれた</p> <p>ミスも多くルーズな先生だがすぐ相談に乗ってくれる</p> <p>授業では生徒を思い厳しく、授業以外では優しく親身に相談ののってくれる</p> <p>顔から想像できない厳しさ優しさで「君たちならできる」と言い続けてくれた</p> <p>「一つ言ったら十動け」を言い続け、悩み事は一緒に悩んでくれた</p> <p>「努力は不可能を可能にする」をやり通し、熱意と生徒への愛情を持った先生</p> <p>若くて生徒に取って身近で一人一人をしっかり見て悩みや相談ののってくれた</p> <p>部活指導は熱血で口うるさく嫌だったが、進路ではアドバイスなど別人の顔</p> <p>意見を尊重してくれて、何より自分を良く理解してくれていた事が嬉しい</p>
--	--

③ 授 業 を 通 し て	<p>熱意が伝わるわかりやすい授業で苦手を克服させてくれた</p> <p>大の苦手の社会科が先生の指導で一番好きになった</p> <p>おもしろい授業でひとりひとりわかるまで指導してくれた</p> <p>授業がわかりやすい</p> <p>明るく楽しい授業で活動的、経験も豊富</p> <p>好きな英語を徹底して鍛えてくれた</p> <p>調べ考え表現する力をつけてくれる中身の濃い授業と、真剣で裏表のない先生</p> <p>フレンドリーな先生で苦手な体育が好きに、親身な相談で父親のような温かさ</p> <p>人生をひたすら語り、未来のアドバイスをしてくれた授業をやらない先生</p>
---------------------------------	--

④ 学 級 経 営	<p>クラスを一つにまとめ上げてくれた先生</p> <p>いつもクラスみんなで遊べる工夫をしてくれた</p> <p>1年かけて不登校生徒をクラスにとけ込ませた先生</p> <p>生徒と一緒に全力で取り組む先生</p> <p>先生の指導でみんなにチャンスと自信を与え成長させてくれた</p> <p>意見を尊重してくれて、何より自分を良く理解してくれていた事が嬉しい</p> <p>正義感が強くいろいろ知っていて相談でき頼りがいがある</p>
-----------------------	---

⑤ 部 活 動 指 導	<p>部活動を通して生活やマナーまで納得いく説明で指導され心から信頼できる</p> <p>喜び悲しみを先生と部活動全員で分かち合い、いつも生徒と一緒に先生</p> <p>部活動を通して自分を人間的に大きく飛躍させてくれた</p> <p>くじけそうな時も楽しい時もいつも強い言葉で励ましてくれた</p> <p>先生にいつも怒られていたが、部活動で優勝、初めて誉めてもらえた</p> <p>部活動に熱い頼りになる指導、人としての礼儀など教えてくれた</p> <p>技術はもちろん、スポーツマンシップ・礼儀・仲間と頑張る大切さを教えてくれた</p>
----------------------------	---

⑥ 厳 し さ	常に同じ態度で、甘やかさず厳しい指導で嫌われ役にまわっていた 私を見捨てずにしかり続けてくれた 生徒に嫌われても厳しさを貫いた先生 しつこく厳しく教えてくれた先生 絶対に見放さず、時には厳しく、時には一緒に悩んでくれた先生 優しいだけでなく時には本気で愛情を持ってしかってくれた
------------------	--

⑦ 嫌 な 教 師	決断力のない先生 生徒指導に熱心だが生徒の話聞き入れない先生 不登校の生徒に、遅刻しただけの宿題を提出しろとみんなの前で怒鳴りつけた先生 若く自信が無い授業で生徒に馬鹿にされる先生 心に残る先生はいない、先生はきれい事や見た目だけで判断する、自分がその間違いを証明したい
-----------------------	---

上記のようにタイプわけを試みたが、「心に残る先生」は1つのタイプに当てはまるものではなく、人間としての総合的な魅力を兼ね備えていることは言うまでもない。

学級経営や教科指導・部活動指導等の専門的な力量が発揮されていることを裏付けとしながら、開放的で明るい性格や、最後まで何とかしようとする情熱、生徒の悩みに耳を傾けてくれる謙虚な姿勢など、教育者として必須条件である人間としての信頼性の高さが強い印象を与えているように読み取れた。

⑥の、生徒に嫌われながらも毅然として厳しい姿勢を貫き通す教師に対して複数の記述があった、「今になって振り返ってみれば教師の愛情だったと思う」「あのときの厳しい指導があったおかげで今の自分があると思う」という記述にほっとすると共に、生徒を育てるための愛情ある厳しさ、その場しのぎにならない毅然とした教育の在り方に多くの示唆を感じた。

⑦の、「嫌な教師」からも教える側の者は多くのことを学び取ることができる。

ほぼ全員が、今までの学校教育の中で多くの信頼できる先生に出会い、心から信頼し、今でも近況報告に訪れたり感謝している中で、⑦の欄の最後の記述者だけは、今までの教師との出会いの中で良いことはなかったと断言している。だから「自分が先生になって間違いを正したい」という。

教職をめざす出発点が、否定からというまれなケースである。そこで、授業を通してこの学生<T男>がどのように変容するか、授業の振り返りで追いつけてみたい。

心に残る先生 T男 その1
今まで良い意味で心に残る先生はいません。 表ではきれい事ばかり言っている教師ばかりで結局は見た目判断していて、そういう教師は間違っていると思うので自分が教師になってそういう教師は間違っている事を証明したくて教職を取ろうと思いました。なので先生になれるよう頑張ります。

### 3. 「教師の仕事を知る」取り組み

「知る」の5時間の授業内容は下記のように編成し、生徒が先生の立場になって考え、学校現場で起こることが予想される問題に最も適切な対応策を出していく内容にした。

- (第1時) 心に残る先生・自分がめざす教師像
- (第2時) 先生の1日の仕事
- (第3時) 学校と法律Ⅰ<校長の権限、勤務と休日、体罰とは>
- (第4時) 学校と法律Ⅱ<教育相談、学校事故等への対応>
- (第5時) 教育基本法の本質

第2時の「先生の1日の仕事」は、授業の中での反応がとても大きかった。この授業では教える側の先生について教えられる側の生徒は限られたほんの1面しかわかっていないというギャップを資料の工夫で明確に示すことができたためだと考えられる。

授業の流れは下記のように組み立てた。

- ①先生の1日の仕事を10個自由に考えさせる
- ②4人グループにして最低10個は記述させる
- ③資料1「教師の1日の仕事」・・・現場の学校で使われている教師の日々の姿をチェックする32箇条のチェックリストを、自分の普段の生活に照らし合わせて自己評価させる。
- ④資料「中学校の校務運営組織図」を見て、中規模中学校の学年主任A教諭という立場になったと想定し、校務分掌をいくつ任せられ、仕事をいくつ担当しているか確認させる。
- ⑤A教諭は中学校で担任と部活動を担当し、家庭では両親と子どもが2人いるという設定で、1日のタイムスケジュールの中に10個記述した仕事と、チェックリストを見て気づいた仕事を書き込んでいく。部活動も自分が経験してきたレベルか自分が指導者として希望するレベルでの練習計画を1日の中に書き込む。
- ⑥A教諭の家庭での役割についてもできるだけ記入し、「教師の1日のタイムスケジュール」を完成させる。
- ⑦「教師の1日のタイムスケジュール」を作成して気づいたことを記入し、発表し合う
- 教師の多忙な勤務を支えているのは何かに気づかせる。

#### 学生の授業振り返りから

①校務分掌のことは前年度の授業でも少し学んだが、具体的に一人あたりの分担数を確認したのはこれが最初でした。自分が中学生の時、家庭学習ノートを提出し毎日確認印とひと言コメントが書かれて返ってきたので「授業のない時は暇なんだろうな」と思っていたのですが、週20時間もの授業があると知り驚きました。

中学3年の時の担任の先生は毎朝生徒が教室に来る前に、黒板に出迎えの文を書いてくれていました。季節の移り変わりや学校行事、クラスで起こったこと、その日の給食、天候、テレビ、おすすめのダイエット法、卒業までのカウント等とにかく話題豊富でした。

改めてその先生のがんばりがわかった気がします。私たち生徒から見える先生の姿はほんのわずかな部分でしかないのだと思い知らされました。「大変」という印象を受けたが

逆に言えばまだまだ教師の楽しみ・魅力を知らないということなので今後知っていけるようにしたい。

②先生の仕事のあまりの多さに言葉がありません。自分が考えていたことなど比ではないぐらいの過密さと責任の重さがあることを知りました。しかもこれが毎日の仕事な訳でもっと他に追加もある。そう考えただけで大変さがわかります。

今まではこんな事知らずに先生に接してきたけれど、裏でこんなに大変な仕事をしていると知った今は、さらなる尊敬を抱きました。こんなに大変な仕事自分ができるかはわかりませんが、とてもやりがいのある仕事だと思い目指したいと思います。

#### 先生の1日の仕事 T男その2

今日の授業を振り返ってみて、今までわからなかった先生の仕事がたくさんあることを知って驚きました。ただ学校に来て授業をするだけでなくそれまでに授業の準備や委員会などに入り、様々な仕事をしていてとても大変なことに気づきました。でも、すごくやりがいのある仕事だと思うので、ぜひ先生になりたいと思った。

#### 4.「教師の仕事を行う」取り組み

学生が授業の中で実際に教師の仕事を行うことはできないが、教師の想いを知り、想いを伝えることならできるのではないかという考えから、学級通信を作成することを中心にして、コミュニケーションをすること、教師の想いを表すこと、うまく伝えることによって理解し合うこと、理解し合ってこそ教育が成り立つことが納得させることをねらいとして5時間の授業内容を構成した。

(第1時) 相手を知る リクレーションの効果

(第2時) 教育相談と解答を考える 学級通信の紙面を構成する

(第3時) 好きな言葉で想いを伝える 清書・文字を丁寧に書く

(第4時) 想いを伝える通信とは・何を伝える・見やすい構成とは・配慮事項は

(第5時) 完成した通信の相互評価 学級通信コンクール<優秀賞の選考>

学生にとっては初体験の通信づくりであり、とまどいが多いことは予想通りである。学級通信としては伝える対象の生徒を持っていないので、<だれに><何を><わかりやすく>伝えるかという通信の基本を生かすために、学級通信の体裁を取りながら一番伝えたい人に現在の自分の大学生活を伝えるという方法をとった。

通信を作成する上でのねらいは次の5つである

①想いを伝えるという教師の重要な役目を果たすために、「好きな言葉」とその言葉に込められた思いを載せることは紙面構成上必須の共通条件とした。

②手書きの通信でも良いが、写真の挿入はコンピュータリテラシー上、大学生ならできて当然な力として必要な条件とした。

③紙面の完成までのプロセスを・はじめ・中間発表・作品の相互評価の3段階とし、80人の作業スピードを調整すること、他人の作品からヒントを得てより向上させようとする意識を高めることとした。

④完成した通信を実際に相手に送ることによって、想いが伝わり、反響を受けることで、作り上げた喜び、想いが伝わるうれしさなど達成感を一層高めること。

⑤受け取って読む立場のままではわからない、想いを伝えるための通信の工夫、読みやすい紙面の構成、伝えたい内容の充実など、作り手の心情を理解できること、継続して書き続けることの重要さに気づかせること。

⑥完成した作品は評価の観点をもとに相互に読み合って評価し、授業を受ける生徒同士の相互理解を深めたり、多様な体験や考え方を学び合うこと、また優れた作品を選考し、質の高い紙面を見る目を高め、意欲・関心・批評眼を高める。

優秀作品に選ばれた作品例

# Jump!

Do you know about 英米語?

発行者: 第1号 6月19日発行

英米語学科では、1年次の5月に野外活動の一環として、英米語学科の先生や先輩と一緒にバーベキューをして楽しんだり、歌を歌って盛り上がりつつあります。他のクラスとの友達と混ざって、一緒に行動をしたり、遊んだりするので、友達をたくさん作る機会でもあります！僕が1年生の時は、ただ酒を交わすだけの友達とたくさん喋る様になったので、たくさん友達が増えました！

他にも英米語学科の面白いの場を紹介します。それは、国際情報センターこと0棟です。常盤学生に人気のあるラバツエラ字などは英米語なので、大人の方でも休めやすくて、学活や授業の反対方面にある、学習センターでは、



飲み物のコーナーのみならず、モカポットやお茶セットが揃っています。英語や他の海外語に関する書籍や新聞が並び、英語圏のテレビ番組や新開演など英語学習のために、みんなやってみよう！

英語学習のため、みんなやってみよう！

しかし、みんなが楽しんでいる英語学習者には、出ませんが、大きな声で話している英語学習者には、迷惑が掛かっています！

マナーを守りましょう！

英米語学科のみならず、他の学部の人たちも利用できるのです。ぜひ足を運んでみてください。



## 好きな言葉

僕の好きな言葉は『未来は白紙のまま。ペンを握るのは自分自身』という言葉です！これはイギリスの女性シンガーソングライター、“ナターシャ・ベディングフィールド”の名言です。

人生という一冊の白紙の本に、物語を描くのは自分自身であり、自分の人生は自分で描くという意味が込められています！

## バドミントン部に スーパーヒーロー!



バドミントン部のノック練習に、色とりどりのシャツを着たメンバーが、それぞれ個性が異なるシャツを着て集まったので、シャツが楽しかったので、シャツが楽しかった... (笑)

学生の授業振り返りから

①いつも先生が作ってくれる学級通信を当たり前のように見ていたけど、実際作ってみると・色合い・レイアウト・内容と意外と大変で作るときにとっても悩み苦戦した。

みんなが作ってきたのを見て写真が入っていたり、内容がすごく心温まる内容であったりと見ていて楽しくなった。私も実際教師として作る際にはただ内容を伝えるだけでなく読んだ人が楽しくなって心温まるような学級通信を作りたいと思った。

②まず自分で思った通りに通信が作れなくて苦勞しました。読み手に楽しんでもらえるような紙面作りはむずかしいです。みんなの作った通信を読むのは楽しかったです。書き手の個性が表れていて、共感する内容ではその人と仲良くなりたくなりました。先生は毎日こういう通信を作っていると思うと大変だなと思いますが、生徒は通信を楽しみにしているのだと思います。会話では伝わらない先生の「言葉」を生徒に伝える大切なコミュニケーションだと思います。

③A4の紙面がこんなに広く感じたことはありませんでした。空白スペースがあるとかっこわるく見えてしまうので分量を増やすことだけ考えていました。内容・事務連絡・予定など書くことがとにかくたくさんで、改めて教師の仕事の細かさ、そして求められる技の多彩さに驚きました。WORDでここまで本格的な掲示物を作ったことがないので枠の出し方にとまどい思った以上に通信らしく外見を整えるのに時間がかかりました。日々載せる内容を探せるようになりたいです。コンクールでまさかの3位！嬉しいです。

#### 学級通信完成 「男その3」

まずどんな内容にするのか考えるのが難しかった。

また、デザインを考えたりバランスとかを考えるのがとても大変だった。

今までの学校の担任の先生とかが1年間通してこの作業をやっていたのかと思うととてもすごいと思った

## 5.「教師の仕事を探る」取り組み

教師の仕事を探るための中心課題は「道徳」の授業を考える取り組みと総合的な表現の手段としての3分間スピーチコンテストで構成した。

道徳の授業は教科書に書かれた知識内容や技術の指導ではなく、生徒達の心の内面を耕し、心にしみこむ指導を進める必要があり、より高度な使命感と指導感、生徒にあてはまる教材の選択が重要である。また、同じ教材を使用しても指導者の構え方で指導の方向が異なるものでもである。年間35時間の中で目の前の生徒達の心を耕すためのねらいを設定し、ねらいに合った教材を選び、心に響くように授業を展開していくことは容易なことではないが、教科指導等にはない「心を育てる」重要な内容を担っている。

短時間ではあっても「よい道徳指導」の在り方に出会い、その深さと重要さが感じられれば、日々の生活の中でも道徳に使える教材を探そうという芽が育ち、学生自身も自分自身の生活を向上して行こうとする意識につながるのではないかと思い授業を構成した。

(第1時)道徳の授業を創る 共通教材で考える <つま先は夢に>

(第2時)道徳の授業を創る 共通教材をグループで指導の流れを創る<美しい母の顔>

(第3時)道徳の授業を創る 自分で選んだ教材で指導の流れを考える

(第4時)3分間スピーチコンテスト <今私が思うこと>



わずか3時間で、授業の指導の流れをつくり、自分で教材を探してきて道徳の重要性まで体感させようとするのはかなり欲の深い計画であるが、主に1年生が履修する科目であるので、短時間でも「道徳」の大切さをわかった上で、今後の教職課程に対する考え方の土台になって欲しいという願いを持って指導に取り組んだ。

指導のねらいは次の5つである。

- ①道徳にはねらいがあり、生徒に適した時期に適した内容で指導し、人間性を高めるための役目を果たしている。
- ②同じ題材でも指導者の願いや想いによって方向性が異なることがある。
- ③生徒に適した題材は教師の努力によって発見され、開発されている
- ④道徳の指導は生徒と先生の信頼関係の上に成り立つ
- ⑤先生が生徒を知り、ねらいをはっきり持っていないと、道徳の指導は心に響かない。

#### 共通教材「美しい母の顔」の授業

- ①題材「美しい母の顔」を二つ折りにし、机の上に配る
- ②題名から考えられる内容を発表し合う
- ③「美しい母の顔」の文章を読む
- ④発問に使う文を2～3カ所、文章から抜き出す 個人
- ⑤4人グループで授業の流れと発問の構成を考える
- ⑥グループごとに黒板に発問を掲示し、発表し合う
- ⑦終末の方法を考え発表しあう
- ⑧「美しい母の顔」というはじめのイメージが授業でどう変わったか話し合う

#### 学生の授業振り返りから

① こういう教材を読んだのは久々でした。忘れていた道徳の授業の素晴らしさを再び実感したように思います。素晴らしい教材を生かすも殺すも先生次第だと思いました。

② 道徳は正直何のためにやっているのかがよくわからなかったが、自分たちで道徳の授業のことを考えてやると、なんか言葉に表せない大切なことを学んでいるような気がした。たとえば今日の授業のように中学生はうまく心を込めて「ありがとう」とか言えないのにそれを言わせてくれるような授業が道徳の授業だと思った。

③ 道徳というのはこの年になっても感動させ勉強になる者だと改めて感じました。よりよい人間になるためにいい話をもっと探し、読んで人生の糧にしたいです。

#### 道徳 美しい母の顔の発問を考える 「男 その4

道徳の授業で生徒がどのように捉えるのか？を考えるのが難しい反面、楽しい作業なんだなと思いました。人それぞれ考え方は違うし、その意見を聞くのがとても楽しかったです。

## 6. 終わりに

学生が心に思い描く教師像を生かしながら、多忙で大変な仕事ではあるが情熱があればやりがいのある仕事が「教師」である・・・と伝えるために「知る」「行う」「深める」の3部構成で具体的な作業を取り入れ、グループ化して自分たちでよい対応策や解決策をさぐる工夫をしたつもりである。最初のスタートでは、学生の知っている先生像と実際の現場の多忙さのギャップが大きく、「先生は大変だ」になりそうだったので、教育実習を終えた学生のスピーチを入れて「先生という仕事が与えてくれる感動」の紹介を重ねていくことなどによって、大変さよりもやりがい感や教育実習を早くやってみたいという期待感につながっていった。

また、教師の基礎の基礎である「文字の丁寧さ」や「身だしなみの清潔感」「言葉遣い」など十分に指導の手が届かないところもあり、授業の中だけでなく大学が共通して常に学生に働きかけ、意識を高める指導が必要であることも痛感した。

最後にく学生の振り返りと「否定的感情から教師を目指したT男」の感想から、指導改善のヒントを得ていきたい。

### 教師の仕事について T男 その5

教師の仕事について具体的な内容がわかりました。1日の仕事の多さに驚きました。また、相談に答えたりどんなアドバイスが生徒に必要なのか考えるのがとても大変でした。学級通信を実際に作ってみて作業がとても大変だったので、それを毎日作っていた先生はとてもすごいと思いました。この授業を受けてみて、最初は何となく軽い気持ちでしたが、仕事のおもしろさを知りぜひ教師になりたいと思いました。

①どの授業内容も興味をひくものであった。先生の仕事は教育者として法に配慮したり、思っていた以上に過酷なものだった。しかし、学級通信を作る楽しさや読んでくれた人の反応、伝えたいことを段階を踏んでより説得力を持って伝える授業など、やってみると楽しいことばかりだった。教職入門の授業で教師になるという夢に一步近づいたように感じた。

②この授業では教職について基本的なことを学びました。対応の仕方や状況判断、どうすれば生徒に興味を持ってもらえるかというところまで頭が痛くなるくらい考えることができました。小中高と先生の仕事に興味があるのだけれど内容は全然知りませんでした。なぜ生徒が毎日授業を受けられるのか、それは先生が万全の準備をしてくれているからだ、今なら考えることができます。もし、自分が先生になったらいろいろな面で気を遣って、私の先生がそうであったように万全の準備でのぞみたいです。教職入門の授業を受けて今まで持っていた先生に対するイメージが小さかったということがわかりました。

①この授業を通して先生についてたくさん知ることができました。教職はとりあえずとっておこうという感じでとりはじめました。でもこの授業を通して先生は素晴らしい職業だなとたくさん感じました。だんだん授業が進むにつれて「私はこんな事を生徒に伝えたい」というようなことを思うようになりました。また、伝えたいことをうまく伝える難しさも感じました。自分の考えを生徒に押しつけてはいけないし、と違って違うことを教えてしまってもいけないので、伝えたいことは1つ1つ丁寧に伝えなければならないと思

いました。先生の仕事は思っていた以上に大変で知らないこともありビックリしました。それを知ったとき今まで私が教わってきた先生方はそのすべての仕事をこなしていたのかと思うと改めてすごいなと思いました。私はまだ教師になるかどうか決めていません。

しかし、この授業で先生の仕事についてさらに興味を持ちました。これからも教職の授業はいくつかあるのでよく考えていきたいと思います。この授業をとることができて良かったです。